

貴重な金属、国内循環を 小型モーターから銅・鉄を回収 磐田の野末商店が新工場で処理能力アップ

2023年5月6日 08時06分



小型モーターから銅や鉄を再生原料に生まれ変わらせる設備

小型モーターから取り出された銅を手にする野末洋介社長

銅、鉄などの金属リサイクルを手掛ける野末商店（静岡県磐田市）は、家電などで使われる小型モーターを破碎して銅や鉄を回収し、再生原料に活用する新工場を稼働した。自動運転技術の普及や産業機械の高度化に伴い、機械の駆動部で使われる小型モーターは増えていく見込みで、処理能力を増強した。（勝間田秀樹）

新工場の名称は「ホーリーホックプラント」。稗原（ひえばら）工場（同）の隣地を新たに取得して設けた。鉄骨造り二階建てで、延べ床面積は二千八百平方メートル。土地を含め約八億円を投じた。月に五百トンの小型モーターをリサイクルできる。稗原工場が持つ月二百～三百トンの処理能力と合わせ、処理能力は月計八百トンに拡大した。

現在は、エアコンや洗濯機など家電リサイクル法の対象家電から取り出された小型モーターのリサイクルが中心。こぶし大のモーターを十～十五ミリ大まで碎くなどした後、比重の違いや磁力を利用して鉄、銅、樹脂に分けて回収する。銅や鉄は高品質な再生原料に仕上げ、素材メーカーや製錬所に販売する。

同社は自動車や楽器の不良部品、端材を買い受けて金属を取り出す事業が柱で、売上高は約百八十億円。小型モーターからのリサイクル事業は四・五億円規模と全体の2・5%だが、新工場の稼働率の向上などで二〇二七年までに二十億円規模に伸びると見込む。

野末洋介社長は「銅をはじめ資源の大量輸入が難しくなっていく今後を見据え、貴重な金属の国内循環に役立ちたい」と話している。